

自然系学芸員シマムーの にここ通信 NO.2

みなさんこんにちは。自然系学芸員の「シマムー」です。少し古い話になるのですが、浦安市郷土博物館がかかわった、お魚に関するとても珍しい報告書があるので紹介しますね。

2011年11月1日、東京都東部漁協に所属している「鈴甚丸」の鈴木徳浩さんから、「珍しい魚が網にかかった」と、大変貴重な情報を提供してもらいました。



みなさんは「アカメ」という魚を知っていますか？釣りが好きな人は、高知県の四万十川にいる魚だと気づいたかもしれませんね。そのとおり！高知県を中心に四国の太平洋岸に注ぐ大きな河川の河口域に生息している魚のことです。成長すると1mを超える日本固有種の魚です。まれに、本州の中部太平洋側でも採集が報告されることがあ

ります。その「アカメ」が、東京湾新木場沖で網にかかったのです。どこが貴重かって？実は「アカメ」が東京湾で採取されたのは2例目のことだったのです！しかも、1例目の「アカメ」はリリースをできてしまっていたので、標本として残された個体の報告は初めてのこととなり、日本の北限の記録となったのです！残念なことに、浦安市郷土博物館で「アカメ」を引き取りに行った時にはすでに死んでいたため、泳ぐ姿は見ることはできませんでしたが、標本として計測し写真を撮り記録を残すことができました。今回の事例は、日本の北限記録となり東京湾で採集された初めての標本として貴重なため、全国の博物館や研究施設で情報共有できる横須賀市自然・人文博物館に標本を登録し、共同で報告書を制作しました。この「東京湾から採集されたアカメ（スズキ目：アカメ科）」の報告書を、PDFにして博物館のホームページに貼付しておきました。ぜひみなさんに読んでいただきたい報告書です。

・・・それにしても、なぜ東京湾に南方の魚の「アカメ」がいたのでしょうか？私は、黒潮のって生息域を広げようとする生物のたくましさを感じました。みなさんは、どう感じましたか？

QRコードを読み込むと「浦安市郷土博物館」のホームページが開きます。

